

日韓企業連合がブラジル CSN 社と鉄鉱石権益買収で基本合意

新日鉄と他日本高炉メーカー、伊藤忠商事(株)、韓国・POSCOは共同で、ブラジル鉄鋼大手CSN社の100%子会社の鉄鉱石生産・販売会社であるブラジルNAMISA社に資本参加し、同社株式の40%を取得することをCSN社と基本合意した。日韓共同事業体の投資額は、NAMISA社株式40%の対価、約USドル3,120百万(約3,120億円)となる見通し。

NAMISA社は、ブラジル南東部に自社鉄鉱山、選鉱設備から成る鉄鉱石プロジェクトを保有しており、2009年の予定販売数量は1,800万t/年、2013年には3,800万t/年まで生産規模を拡大する予定。また、山元から積出港までを結ぶMRS鉄道の株式10%をCSN社がNAMISA社に譲渡することも合意されており、今後、プロジェクトによる鉄道インフラの長期

的な使用をより確実なものにしていく。また、本株式買収を前提として、NAMISA社よりの

鉄鉱石・ペレットの長期引取についても合意した。

<参考資料>

日韓共同事業体構成出資比率(NAMISA社株式の40%)

伊藤忠商事 40.00%	新日鉄 16.20%	JFEスチール 16.20%
住友金属 6.57%	神戸製鋼所 3.08%	日新製鋼 1.75%
POSCO 16.20%		

お問い合わせ先 広報センター TEL 03-3275-5021 ~ 5023

新日鉄とトピー工業(株)の提携について

新日鉄とトピー工業(株)は、両社の競争力強化と企業価値向上のため、相互提携を一層強化していくことに合意した。

当社は、トピー工業の新日鉄グループにおける位置付けを明確化し、本提携をより一層、円滑かつ確実に実行していくために、トピー工業の株式を持分法

適用会社となる議決権比率20%まで取得し、トピー工業も当社の株式を一定規模取得する。

両社はこれまでも、受委託圧延、新日鉄からトピー工業への鋼材・半製品供給などを実施してきたが、今後の鉄鋼需要の変動や国際的な競争激化へ対応していくため、さらなる提携施策を実行していく。

<提携の内容>

1. トピー工業の鉄源設備の新鋭化(電気炉・連続铸造設備の更新・大型化)による競争力強化と、それに伴う鉄源設備の効率的な共同活用
2. 世界トップクラスの異形形鋼加工技術を持つトピー工業との、形鋼まで一貫での競争力強化策の実行
3. 鉄事業関連の個別連携施策
4. 中部地区での電気炉ダストリサイクルに関する共同検討

お問い合わせ先 広報センター TEL 03-3275-5021 ~ 5023

製鉄ダスト系副産物のリサイクルおよび還元鉄生産・利用に関する共同出資会社の設立について

新日鉄と(株)神戸製鋼所は、連携深化・拡大施策の一環として共同で内容検討してきた、製鉄ダスト系副産物(製鉄ダスト)のリサイクルおよび還元鉄の生産・利用に関する共同事業化について、このたび合意したことから、契約を締結し共同出資会社を設立した。

共同出資会社は当社広畑製鉄所構内に設立され、両社などのダストおよび粉鉱石類を原料とし、還元鉄を製造することで、原料中の鉄分の資源化・有効活用と亜鉛の回収を図る。還元鉄は一部を当社のグループ会社である、山陽特殊製鋼(株)にも供給し、各社にて有効活用を図る。本事業における新設設備の原料

処理能力は約40万t/年で、国内最大級の生産処理能力を有する。これにより還元鉄のさらなるコスト競争力の強化を追求するとともに、環境対策についても万全の措置を講じていく。

本事業は、両社の共同事業の形態をとることで、原料の安定的確保とアライアンス会社を含めたリサイクル・ゼロエミッションの推進を図るとともに、新日鉄で確立された製鉄ダストのリサイクル・有効活用についての操業技術と、神戸製鋼所で確立されたRHF(回転炉床式還元炉)の設備技術とを組み合わせることで、両社の連携による効果をさらに高め、併せて新日鉄のアライアンス先も含めて、関西圏

全体の効率的な製鉄ダストリサイクルを実施していく。



当社増田副社長(左)と神戸製鋼所小山副社長

<事業概要>

- ・会社名: 日鉄神鋼メタルリファイン株式会社(英文名 Nittetsu Shinko Metal Refine Co.,Ltd.)
- ・出資比率: 新日鉄70%、神戸製鋼所30%
- ・総投資額: 約200億円(回転炉床式還元炉およびその関連設備。共同出資会社の製鉄ダストの再生利用認定取得を条件に設備投資着工)
- ・会社設立: 2008年10月15日
- ・設備稼働予定: 設備投資着工後2年後

お問い合わせ先 広報センター TEL 03-3275-5021 ~ 5023

八幡製鉄所関連施設が近代化産業遺産群の世界文化遺産・暫定一覧表に登録

文化庁文化審議会において、九州・山口の6県・11市が共同提案していた、新日鉄八幡製鉄所関連施設を含む「九州・山口の近代化産業遺産群」が世界文化遺産・暫定一覧表に登録されることが決定した。

9月26日、文化庁文化審議会において、今年度審査対象32件

のうち、本提案を含む5件の暫定一覧表への追加登録が決定され、公表された。八幡製鉄所関連施設としては、旧日本事務所、旧鍛冶工場、西田岸壁(ならびに北九州市所有の東田第一高炉跡)が登録された。今後、5~6年程度かけて世界文化遺産への登録が審議される。



日本事務所

お問い合わせ先 広報センター TEL 03-3275-5016

釜石市立資料館「鉄の歴史館」に寄付

新日鉄は、岩手県釜石市にある市立資料館「鉄の歴史館」に1,000万円を寄付した。鉄の歴史館は1985年に開館し、釜石に始まった日本の近代製鉄の歴史に関する資料や鉄鋼製品など

を収集展示している。本年、近代製鉄発祥150周年を迎えたことを機に、釜石市が同館の展示の大幅リニューアルを計画しており、当社の寄付はその一部に充てられる。

お問い合わせ先
釜石製鉄所 総務部
TEL 0193-24-2332
鉄の歴史館
TEL 0193-24-2211



名古屋製鉄所が「メッセナゴヤ 2008 ～環境チャレンジの祭典～」に出展

名古屋製鉄所は、9月11～14日に名古屋港金城埠頭ポートメッセなごやにて開催された「メッセナゴヤ2008 ～環境チャレンジの祭典～」に出展した。

同所は、環境・省エネルギー・リサイクルなどに貢献する当社の取り組みを、3つのエコ(エコプロセス、エコプロダクツ、エコソリューション)の категорияで紹介。製鉄所のエネルギー・

資源の循環や環境保全林などのエコプロセスをはじめ、同所で製造する自動車用高強度鋼板(ハイテン)、制振鋼板「パイプレス」、製造時の環境負荷を軽減するTULC缶などのエコプロダクツを実物やパネルで展示した。また、廃プラスチックやスチール缶のリサイクル、鉄鋼スラグを利用した沿岸の磯焼け改善プロジェクトなどのエコソリューシヨ

ンをコンパクトに紹介した。この祭典は、2005年に行われた「愛・地球博」の理念を継承する事業として「環業(環境を基軸とした産業)」をテーマに2006年から開催しており、変化する社会・経済のニーズを反映したテーマのもと、活力あふれる場を提供し、ビジネスチャンスを創出することを目的としており、342社が出展し、4万5,530人が来場した。



お問い合わせ先
名古屋製鉄所 総務部
TEL 052-603-7024

君津製鉄所が「君津市消防団協力事業所」に認定

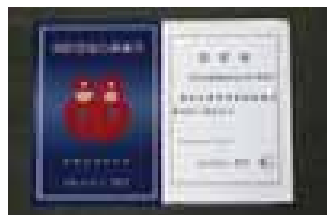
君津製鉄所は、9月23日に君津市消防長から「君津市消防団協力事業所」の認定を受け、表示証を公布された。同所では、所員の地域における消防団活動を奨励しており、現在6人の所員が地元分団の消防団員として活動している。

消防団協力事業所表示制度

は、事業所の消防団活動への協力を社会貢献として広く認めると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的としており、「消防団協力事業所」として認められると、公布された表示証を社屋やホームページなどで広く表示できる。同制度は、総務省

消防庁が本年1月より運用を開始し、君津市でも2008年度より導入され、当所は同制度の初年度において認定事業所となった。

お問い合わせ先
君津製鉄所総務部 総務グループ
TEL 0439-50-2013



君津市消防団協力事業所としての認定証と表示マーク

(株)新日鉄都市開発のハイブリッド環境住宅「TERA<テラ>」がグッドデザイン賞を受賞

(株)新日鉄都市開発が開発した、環境設計に省エネルギー設備を加えたハイブリッド環境住宅「TERA<テラ>」が、(財)日本産業デザイン振興会主催の「2008年度グッドデザイン賞(建築・環境デザイン部門)」を受賞した。

住宅から排出されるCO₂の削減と居住空間の快適性の両立を目指した先進のモデル「TERA」は、環境建築設計(パッシブ・エコ)と省エネルギー設備設計(アクティブ・エコ)という2方向か

らの手法を採用したハイブリッド環境設計が特長の環境住宅。パッシブ・エコとは「建築的工夫」で自然エネルギーを有効利用することによって化石燃料の使用を抑制。アクティブ・エコは、先進技術が生んだ省エネルギー設備機器を採用することで排出されるCO₂の削減を図るもの。これらを組み合わせることで、居住時のCO₂排出量を一般住宅と比べて最大64%削減する。「TERA」は同社が神奈川県川

崎市で開発を進めている「さくらが丘Isaac日吉」(総戸数345戸)で分譲された。同物件は、新日鉄都市開発が「環境との共生」をテーマに街づくりを進め、開発当初の2003年にすでに神奈川県内で初めて、(財)建築環境・省エネルギー機構より「環境共生住宅団地」に認定されている。この「TERA」の開発で、プロジェクトが最終段階を迎えた今年は、



TERA 外観

街だけでなく住まいの1棟1棟が地球環境に配慮された街を追求していく。

お問い合わせ先 (株)新日鉄都市開発 総務部 TEL 03-3276-8800



紀尾井ホール (財)新日鉄文化財団

11月 主催・共催公演から <http://www.kioi-hall.or.jp>

5日 いずみホール・紀尾井ホール作曲共同委嘱
アール・レスピラン 第23回定期演奏会
特別出演：高関健(指揮)、アール・レスピラン(Orch)
曲目：J.S.バッハ(ウェーベルン編曲)「音楽の捧げもの」より
6声のリチェルカーレ、安良岡章夫 新作(初演)、
藤倉大 Secret Forest(委嘱作品初演)ほか

16日 グレート・マスターズV
～日本の音楽界をささえつづけるアーティストたち～
出演：栗本尊子(Sop)、菅沼準二(Va)、平野忠彦(Bar)、
青木十良(Vc)、安倍圭子(マリンバ)ほか
曲目：山田耕筰 ばらの花に心を込めて、モーツァルト もう飛ぶまいぞ、
この蝶々、シヨパン 序奏と華麗なるポロネーズ ほか

21日 OMC Card Classic Special 紀尾井の室内楽 Vol.11
マリオ・ブルネロ 魂のパロック(第1日)
出演：マリオ・ブルネロ(Vc)、
ブルネロ・パロック・エクスペリエンス(通奏低音)
曲目：J.S.バッハ 無伴奏チェロ組曲第1番ト長調、第3番ハ長調、
第5番ハ短調、ヴィヴァルディ チェロ・ソナタ RV43、RV46、RV40

23日 OMC Card Classic Special 紀尾井の室内楽 Vol.11
マリオ・ブルネロ 魂のパロック(第2日)
出演：21日と同じ
曲目：J.S.バッハ 無伴奏チェロ組曲第2番二短調、第4番変ホ長調、
第6番二長調、ヴィヴァルディ チェロ・ソナタ RV42、RV39、RV44

お問い合わせ・チケットのお申し込み先：紀尾井ホールチケットセンター TEL 03-3237-0061 (受付10時～18時 日・祝休)